

広報おおいそが700号を迎えました。



700号発行にあたり
大磯町長 中崎 久雄

「広報おおいそ」が昭和29年12月に第1号を発行以降、本号で700号目になりました。

広報おおいそ100号では発行に至った思いが記されており、「皆さんに町民生活の福祉の向上に役立つ意見や批判を持っていただくのに役立つものとして、少しでも役目を果たしてくれれば」とありました。

14号

インターネットの普及などにより、以前と比べ容易に情報を得ることができる時代となり、皆さんとのコミュニケーションの取り方にも変化が生じたように思います。しかし、初心忘れることなく、いつまでも皆さんとともにある「広報おおいそ」でありたいと思います。

▼夏の行事として、昭和29年から始まった大磯カーニバル。撮影大会、花火、相撲、公開録音、民謡おどり、歌謡大会、仮装パレードなど多彩な催しを行いました。期間中の人出は約12万人と賑わいました。その後、仮装パレードは交通量の激増により中止となり、カーニバルは終了しました。



▶オリンピック特集号
大磯ロングビーチが、オリンピック東京大会ヨット競技の選手村となりました。聖火リレーは国府郵便局前で二宮から大磯に引き渡され、古花水バス停前で平塚へ引き継がれました。
(昭和39年12月1日発行)



1号

▶旧大磯町と旧国府町が合併し、現在の大磯町となりました。広報おおいそ1号は合併直後に発行されました。
(昭和29年12月25日発行)



47号

▶合併10周年を記念して町章を募集したところ、953点の応募をいただきました。また、名誉町民条例を制定し、吉田茂元首相と安田新三郎(靱彦) 画伯に名誉町民の称号を贈りました。
(昭和39年9月20日発行)



53号

(昭和40年6月15日発行)



特集号



▶大磯駅80周年特集号
明治20年7月11日に東海道線が延長され、横浜、国府津間が開通。大磯駅が開設されました。
(昭和42年10月11日発行)

225号

▶大平首相とカーター米大統領の日米首脳会談が、旧吉田茂邸で行われました。
吉田茂元首相が戦後の日米関係の基礎を築いた恩人であり、旧邸で日米首脳が打ちとけた話し合いをするには、より意義がある、このことから会談場所選ばれました。
(昭和54年6月20日発行)



287号

▶明治18年8月に日本で初めての海水浴場が大磯照ヶ崎に開かれて100年を迎えました。
(昭和59年5月28日発行)



423号

▶ワラサが大漁！32年ぶり3年ぶりに復活した大磯定置網漁に3,600匹のワラサ(ブリ)の若魚が入り漁協が活気にあふれました。
(平成7年6月号)



531号

▶「大磯の左義長」は、昭和53年に神奈川県無形民俗文化財に指定、平成9年には、国の重要無形民俗文化財に指定されました。
(平成16年1月号)



「町の鳥」や「町の花」も、
広報おおいそ の表紙を飾りました。



▶広報おおいそ586号
(平成20年5月号)
町の花「はまひるがわ」。平成10年に募集し選ばれた町の花の標語は「汐風と花の香りの町づくり」。

▶広報おおいそ596号
(平成21年3月号)
町の木「くろまつ」。東海道の松並木は大磯の歴史にもつながります。

▶広報おおいそ616号
(平成22年11月号)
町の鳥「あおばと」はいそべえ、あおみのモチーフになりました。

声の広報

目の不自由な方にも広報おおいそを知っていただくよう、ボランティア団体「ひびき」の協力により、「声の広報」を作成しています。「紙面をそのまま正確にお伝えするのが基本ですが、音楽を入れたり、表やグラフ等は聴いて解るように工夫しています。」と、代表の小林さん。



図書館でご覧いただけます。

「広報おおいそ」は、図書館でご覧いただけます。また、「声の広報」の録音CDも、貸出しを行っていますので、ご利用ください。

